

気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

〈公式ウェブサイト〉 気仙沼市社協 <http://keshakyo.web.fc2.com/>
ボランティアセンター <http://svc.miyagi.jp/dvc/hp/kesenuma>

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3〈市保健福祉センター燦さん館内〉
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052
E-mail: karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番2
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467
E-mail: keshakyo@watch.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6〈本吉老人福祉センター内〉
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241
E-mail: moto-sha@kind.ocn.ne.jp



自分で作ったカギで
あわびとり体験

「あつまれ、浜わらす！」

～ロープワークとアワビのカギの作り方塾～

大谷地域を拠点に活動している「あつまれ、浜わらす！」実行委員会で、このほど地域の達人さんたちとロープワークとアワビのカギ作りワークショップを開催し、地域内外から“わらす”が参加しました。

「あつまれ、浜わらす！」は、海や自然との暮らしを子ども達に伝えながら、大人も子どもも、みんなで楽しい暮らしを目指した活動に取り組んでおり、今年6月にはNPO法人の取得予定です。





社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

平成27年度 事業計画

重点目標

- 一、地域福祉の推進
- 二、介護・福祉活動の拠点の整備・活用
- 三、人材確保・育成
- 四、組織管理体制の強化
- 五、福祉サービス提供における「安心・安全」の確保
- 六、各地域における福祉サービスの強化

主な事業内容

- 1 法人運営事業**
 - ・理事会、評議員会、監査会の開催
 - ・苦情解決責任者及び第三者委員の設置
- 2 地域福祉事業**
 - ・地区社協活動への支援
 - ・地域福祉活動計画の推進
- 3 ボランティアセンターの運営**
 - ・ボランティア相談、調整等事業
 - ・各種ボランティア講座の開催
- 4 福祉教育**
 - ・敬老作文募集事業
 - ・福祉教育活動費補助金交付事業
- 5 資金貸付等事業**
 - ・生活福祉資金・生活安定資金貸付事業
 - ・震災対応資金貸付事業
- 6 援護事業**
 - ・火災による被災世帯の援護活動
- 7 生活支援・障がい福祉事業**
 - ・在宅障がい者福祉事業
 - ・指定障がい福祉サービス事業
 - ・地域生活支援事業
- 8 在宅福祉事業**
 - ・在宅ふれあい型交流事業
 - ・老人福祉センターの指定管理
- 9 市受託事業**
 - ・被災者支援事業
 - ・指定介護保険事業
- 10 団体事務**
 - ・地域包括支援センター運営事業
 - ・市民生委員・児童委員協議会
 - ・市共同募金委員会

平成27年度 資金収支予算書

(単位：円)

勘定科目		予算額	
事業活動による収支	収入	会費収入	7,996,000
		寄附金収入	303,000
		経常経費補助金収入	57,607,000
		受託金収入	249,181,000
		貸付事業収入	484,000
		事業収入	3,828,000
		負担金収入	430,000
		介護保険事業収入	447,633,000
		就労支援事業収入	6,954,000
		障害福祉サービス等事業収入	168,238,000
	受取利息配当金収入	60,000	
	その他の収入	2,760,000	
	事業活動収入計(1)	945,474,000	
支出	人件費支出	716,989,000	
	事業費支出	139,438,000	
	事務費支出	73,136,000	
	就労支援事業支出	6,954,000	
	貸付事業支出	500,000	
	助成金支出	5,531,000	
	負担金支出	865,000	
	その他の支出	1,823,000	
流動資産評価損等による資金減少額	500,000		
事業活動支出計(2)	945,736,000		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	▲262,000		

勘定科目		予算額	
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	0
	支出	固定資産取得支出	7,647,000
		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,467,000
	施設整備等支出計(5)	10,114,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲10,114,000		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	51,305,000
		事業区分間繰入金収入	45,000
		拠点区分間繰入金収入	52,610,000
		サービス区分間繰入金収入	8,122,000
		その他の活動による収入	1,355,000
	その他の活動収入計(7)	113,437,000	
	支出	積立資産支出	6,134,000
事業区分間繰入金支出		45,000	
拠点区分間繰入金支出		52,610,000	
サービス区分間繰入金支出	8,122,000		
その他の活動による支出	24,731,000		
その他の活動支出計(8)	91,642,000		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	21,795,000		
予備費支出(10)	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	11,419,000		
前期末支払資金残高(12)	279,636,826		
当期末支払資金残高(11)+(12)	291,055,826		



支えあいの地域福祉構築に向けて 「気仙沼市地域福祉推進フォーラム in もとよし」



講師の
荒川陽子さん



コーディネーターの
芳賀繁さん

3月15日（日）、はまなすホール（市内本吉町）を会場に、気仙沼市と気仙沼市社協主催による「気仙沼市地域福祉推進フォーラムinもとよし」を開催し、約270名の方々にご来場をいただきました。

当日は「地域にやさしい支え合いの輪を広げよう」をテーマに仙台市で活動を展開している地域生活支援オレンジねっと代表の荒川陽子さんの講演に続き、本吉地域の活動者をパネリストにパネルディスカッションを行いました。

多くの人々の願いである「住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らすことができる」支えあいの地域構築に向け、様々な立場の方々が集い、その実現に向けて共に考える実り多い一日となりました。

このフォーラムは、今年度以降も市内各地域を会場に継続して開催する予定です。



【パネリストの皆さん】

斎藤めぐみさん、大内文江さん、須藤わかさん、三浦孝一さん

当日のアンケートから 地域での福祉活動を盛んにするために効果的なこと

- 若い世代が地域活動へ参加すること。そのための仕掛けが必要。
- 隣近所の声かけや誘い合いによる活動への参加。
- 地域でもっと話し合う場や福祉について学ぶ機会をもつ。
- 地域活動のリーダーや地域福祉コーディネーターの育成。
- 地域一人一人の意識を高くする。
- 多くの方が世代を越えて参加しやすい企画。
- 地区社協の活性化。

地域福祉活動計画の推進にあたって「地域福祉」って？

蛍光灯が切れたげんと
1人で替えられない



近所の〇〇さん、
最近見がげねえげんと・・・

交通が不便で
買い物が大変だや



災害が起きたどぎ
どうすればいいかな

子育てを相談しあえる
仲間がいるといい
んだげとなあ・・・



日々の暮らしの中で
さまざまな「願い」「想い」や
「困りごと」「気になること」
などがたくさんあります



ゴミ出しのマナーが
悪い人がいる

すべての人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、法律や制度による公的な福祉サービスだけでなく、みんながお互いに助けたり、助けられたりする関係や、その仕組みをつくっていくことが「地域福祉」です。



高齢者へのふれあい弁当宅配

ました。あ
りがとうご
さいました。

～笑顔と思いやりあふれる地域づくりをめざして～ 気仙沼地区赤十字奉仕団 四ツ葉会の取り組み

「気仙沼市地域福祉推進フォーラム」において、パネリス
トとして四
ツ葉会会長
の大内文江
さんから活
動発表をし
ていただきました。
「気仙沼市地域福祉推進フォーラム」において、パネリス
トとして四
ツ葉会会長
の大内文江
さんから活
動発表をし
ていただきました。
四ツ葉会は昭和六十一年八月
二十四日に結成され、現在会員
一三九名で、本吉地区内の小泉
と津谷で活動をしています。
平成十二年度には年々増大す
る活動に効率的に対応していく
ため、①総務部、②事業部、③研
修部、④広報部、⑤奉仕部の五つ
の専門部会を設置し、各部長を
中心に、会員が役割分担しなが
ら、活動の充実を図っています。
独自事業としてお弁当宅配、
会員研修を行い、事業協力とし
て、施設訪問、各種福祉事業、
地域事業への協力などの活動を
行っています。

ボランティアコーナー



南地区社会福祉協議会の活動紹介

南地区は、魚市場やJR南気仙沼駅周辺の17行政区で構成されていますが、東日本大震災により甚大な被害を受け、なかには解散した自治会もあります。

このような状況でも、地区社協として「地区合同敬老会」開催や赤い羽根街頭募金への協力、また地区ボランティアとの共催による「地区内仮設住宅での交流会」などの事業を継続しています。「敬老会」には他地区や他市からの参加者など200人以上が集まり、再会を喜び合う姿が会場のあちこちで見られます。「来年も参加するから必ず連絡してね」と涙ながらに語られる言葉に、このような行事は今後も続けていくべきだと役員も強く感じているようです。

被災が大きく活動を進める上で様々な課題のある地区ではありますが、各自治会長など役員の建設的な意見と一致団結した協力体制が大きな力となっています。

皆で南地区を創り上げた歴史と住民同士の絆の深さが活動の土台になり、それが「南パワー」となって、現在も地域福祉活動を支えています。



老人福祉センター「福寿荘」介護予防事業

健康貯筋トク・とく講座 XI

参加者募集！

対象者：60歳以上の方ならどなたでも
参加費：100円

お申込み：老人福祉センター「福寿荘」
お問合せ：電話23-1022

※会場や持ち物なども、お申込みの際にご確認ください。

1年ごとに歳は増えるものの、体力・筋力は減るばかり。そこで、老人福祉センター「福寿荘」では、1年間を通して健康貯筋の講座を開催しています。

4月15日から6月までの講座内容をお知らせします。

開催予定日	内容	講師
4/16・23 (木曜日)	筋トレ&ストレッチ (10:00~12:00)	富田 夕子 先生 (健康運動指導士)
5/7・14・21・28 (木曜日)	楽しく踊ろうレクダンス (10:00~12:00)	原 祝子 先生 (日本フォークダンス連盟指導員)
6/5・12・19・26 (金曜日)	シニア向けエアロビ (10:00~12:00)	畠山 洋子 先生 (ヘルスケア・ワーカー)

生活福祉資金 貸付制度のご案内

本会では、低所得者世帯（東日本大震災での被災世帯も含みます。）、障がい者世帯及び高齢者世帯に対し、宮城県社会福祉協議会の委託により、様々な利用目的に応じた資金の貸付相談を行っています。

無利子または低利子での貸付と必要な相談支援により、経済的自立や生活意欲の助長促進を図ることを目的とした制度となっています。

まずはお気軽に本会または地区の民生委員・児童委員にお問合せください。

〈進学に伴う学費や就職・転居関連資金についてのご相談もお受けしております。〉

■お問合せ先 **気仙沼市社会福祉協議会**
(市内東新城2-1-2)
専用(直通)電話：080-5949-7563
(祝日を除く月～金曜日(午前9時～午後5時))

安否確認訪問サービスのご案内

本会では、大船渡ヤクルト販売(株)さんらいずセンターの協力を得て、常に見守りを必要とする世帯へ乳酸菌飲料の配達を通じた声掛け訪問による安否確認を行っています。

- 利用できる方…気仙沼地域にお住まいの次の世帯
①虚弱な一人暮らしの世帯 ②虚弱な高齢者のみの世帯
- 訪問回数…週3回配達(月、水、金)
※地域により利用できない場合や訪問回数が減る場合があります。
- 利用料金…気仙沼市社協が1本当たり23円を負担し、差額をご本人に負担していただきます。
例) 訪問日が13回ある月の場合(1本当たりの単価:43円)
支払額 43円×13回=559円
内訳 23円×13回=299円
(気仙沼市社協でお支払いする額)
20円×13回=260円
(利用される方に支払っていただく金額)
- お問合せ先…気仙沼市社会福祉協議会 TEL 22-0709